

企画提案書記載要領

提案書の各項目について以下の内容に留意して記載してください。

業務基本方針について（１）基本方針 の留意点

- ・ 社会的養護、特に家庭養護の現状及び課題に対して、本事業をどのような目的や役割をもって進めていく方針かを記載してください。

業務基本方針について（２）業務目標 の留意点

- ・ 岡山市では、次期の岡山県社会的養育推進計画（案）において、令和7年度（令和8年3月31日時点）の里親登録数の目標を138組としています。令和7年1月1日時点で里親登録数が128組であることを踏まえて、提案者が目標とする令和7年度末時点の里親登録数を記載してください。（次年度はじめには令和7年1月1日時点の里親登録数から5組程度減少することが見込まれています。）
- ・ また里親登録数以外にも具体的で測定可能な業務上の目標を記載してください。

業務実施体制等について（１）人員・組織体制等 の留意点

- ・ 業務従事予定者について記載してください（配置人数に応じて欄を追加してください）。
- ・ 職名は、仕様書（案）5(1)により記載してください。
- ・ 雇用形態は、正規、非正規のいずれかを○で囲んでください。
- ・ 年齢は、令和7年4月1日時点の年齢を記載してください。
- ・ 主な経歴・資格は、本業務の遂行に必要な専門的知識、経験を有することがわかる内容を記載してください。
- ・ 新たに募集、雇用する場合は、氏名欄に「新規雇用予定」と記載し、募集・選考において基準とする資格、条件、経験等を職名欄、雇用形態欄、主な経歴・資格欄に記載してください。
- ・ 本事業で課題等が発生した際に組織としてバックアップされる体制があるかどうかを含め、提案者の組織体制を記載してください。

業務実施体制等について（４）児童福祉に関する事業実績等 の留意点

- ・ 児童福祉及び里親に関する事業実績及び実績に基づき本業務に活かせる専門知識や実践経験を記載してください。

業務内容等について（１）里親制度等普及促進 の留意点

- ・ ポスター、リーフレット、啓発グッズをどのくらいの量を作成し、どのような場所

で、どのような時期に配布するか。

- ・ SNS のどの媒体を活用し、どれくらいの頻度で情報発信するか。
- ・ 里親月間での講演会は、どのような経験や資格のある講師を選ぶか。開催場所、参加予定人数も提案すること。
- ・ 里親制度説明会を何月頃実施するか。平日夜間、休日開催の里親制度説明会をどの程度開催するか。オンラインによる里親制度説明会を行うか。全体で年間何人の参加者を目指すか。＜参考：令和5年度は里親制度説明会を4月、5月、8月、11月、1月、2月、3月におかやまふれあいセンターで実施。参加人数は、9名（7組）。＞
- ・ 里親制度説明会の参加者を増やすためにどのような工夫を行うか。
- ・ 市内企業や各種団体、商業施設等での制度説明会を年間で何回開催するか。
- ・ その他、工夫できることがあれば、提案してください。

業務内容等について（2）里親リクルート の留意点

- ・ 里親サロンを年間何回実施するか。実施時期と場所を提案すること。
- ・ 里親制度を十分に理解してもらい、里親になろうと関心を持ってもらうようにどのような工夫をするか。
- ・ 主にどのような人たちを対象にしてリクルート活動を行うか。
- ・ 里親に関する個別相談の受付時間帯を提案すること。＜参考：令和5年度にこども総合相談所に来所した相談者は、13名（10組）。＞
- ・ その他、工夫できることがあれば、提案してください。

業務内容等について（3）里親研修 の留意点

- ・ 養育実習等は、どのような施設等で行うか。
- ・ 提案者は、岡山県の児童相談所と合同開催の「基礎研修・登録前研修」及び「更新研修」において職員を何人派遣できる見込みか。＜参考：「基礎研修・登録前研修」は、2回（6月頃と10月頃）行っている。里親希望者には6月頃か10月頃のどちらかで土・日曜日を中心に6日間の研修（講義3日、施設見学1日、実習2日）を受けてもらっている。また「更新研修」は、11月頃に2日間の研修（平日あるいは休日の講義1日、施設実習1日）を行っている。施設実習を除く研修の場所は、きらめきプラザ（岡山市北区南方二丁目13-1）である。また両研修とも令和6年度の岡山市の職員派遣人数は、いずれの研修も講義には事務（司会と受付等）として職員3人、施設実習には職員1人としている。＞
- ・ 提案者が主催する12月頃の「基礎研修・登録前研修」において、全体として職員6～7人で運営できると仮定した場合に、提案者は職員を何人派遣できる見込みか。
- ・ その他、工夫できることがあれば、提案してください。

業務内容等について（４）里親研修の内容 の留意点

- ・ 国の示した研修内容を踏まえて提案者が主催する12月頃の研修の概略を示してください。
- ・ 提案者が主で里親研修を開催する際に、どのような経験や資格のある講師を選ぶか。

<参考>令和6年度の岡山市の里親研修カリキュラムと研修講師

研修名	研修内容	研修講師
基礎研修	①里親制度の基礎 I	児童相談所職員（福祉司）
	②保護を要する子どもの理解	
	③地域における子育て支援サービス	岡山市保健師
	④先輩里親の体験談・グループ討議	岡山市里親会の里親
	⑤実習	児童養護施設等に依頼
登録前研修	①里親制度の基礎 II	児童相談所職員（福祉司）
	②里親養育の基本	
	③子どもの心	児童相談所職員（心理司）
	④子どもの身体	小児科医師
	⑤関係機関との連携	大学教授（児童福祉）
	⑥里親養育上の様々な課題	
	⑦児童の権利擁護と事故防止	
	⑧特別養子縁組について	弁護士
	⑨里親会活動	岡山市里親会の里親
	⑩先輩里親の体験談・グループ討議	
	⑪実習	児童養護施設等に依頼
更新研修	①社会情勢、改正法など	児童相談所職員（福祉司）
	②児童の発達と心理・行動上の理解	児童相談所職員（心理司）
	③養育上の課題に対する研修	児童相談所職員（福祉司）
	④意見交換	

- ・ その他、工夫できることがあれば、提案してください。

業務内容等について（５）未委託里親及び新規受託里親トレーニング の留意点

- ・ 未委託里親研修会を年間で何回開催するか。開催時期はいつ頃か。
- ・ 未委託里親トレーニングの研修において、研修講師は、どのような経験や資格、知識のある者を選ぶか。
- ・ 未委託里親トレーニングの研修内容において、座学やロールプレイを実施するにあたりどのように工夫するか。

- ・ 未委託里親トレーニングの研修において、施設等で実習を行う場合は、どのような施設で行うか。
- ・ オンラインによる未委託里親トレーニングを行う場合は、どのような研修を行うか。
- ・ 未委託里親トレーニングによって、未委託里親の養育の質と意欲の向上を図るためにどのように工夫するか。
- ・ 新規にこどもを受諾した里親に対するトレーニングについて、どのようなトレーニング内容を想定するか。虐待等によって愛着の課題を抱えた幼児を受諾した場合を例に、起こりえるこどもの反応とその反応に対するトレーニング内容を記載してください。
- ・ その他、工夫できることがあれば、提案してください。

業務内容等について（6）関係機関との連携 の留意点

- ・ 本業務委託内の事業のどのような場面で、こども総合相談所との連携が重要と考えているか。
- ・ こども総合相談所以外の関係機関・団体等との連携において、工夫できることがあれば、記載してください。

その他自由提案について の留意点

- ・ 上記に記載のほか、独自の取り組みや工夫、提案がある場合は記載してください。